



生駒駅南口で公民連携のまちづくりを推進！ 2/28、まちづくり推進組織エリアプラットフォーム発足 市民の発案から生まれた3つのプロジェクトを同時開催

2月28日（火）、生駒駅南口周辺のまちづくりに継続的に取り組んでいくための新たな組織「生駒駅南口エリアプラットフォーム」を発足します。

本市は、生駒駅南口周辺の魅力を高めていくため、昨年から公民連携でまちづくりに取り組んでいます。その一環として、有志の市民や事業者などの関係者がワークショップで意見を出し合って決定した3つのプロジェクトを実験的に進めてきました。エリアプラットフォームの発足日に、その3つを同時に実施します。なお、効果検証・継続性向上を図る支援等で、奈良先端科学技術大学院大学の協力を得ています。

■生駒駅南口エリアプラットフォーム発足会議を開催

- 1 開催日時 2月28日（火）10：00～12：00
- 2 場 所 商工会議所別館（旧 南都銀行生駒支店）
- 3 内 容 発足の挨拶後、奈良先端科学技術大学院大学や3つのプロジェクトを各メンバーから説明。生駒駅南口を歩き、各プロジェクトを確認します。
- 4 参加者 生駒駅前本通商店街協同組合、生駒駅前南通り商店街協同組合
グリーンヒルいこまグリーン会、本町自治会、元町一丁目自治会
生駒商工会議所、大和信用金庫、奈良先端科学技術大学院大学の代表者等

■3つのプロジェクト

1 滞留空間づくり「りんごベンチプロジェクト」

来街者や市民同士のコミュニケーションが生まれる居心地の良さを試行するため、ぴっくり通り商店街の複数個所にベンチを設置し、滞留空間の創出による変化を検証します。ベンチは、商店街の青果店で不要になったりんご箱を活用して市民がDIYで作成したものです。

- ・日 時 2月28日（火）9：00～



2 サインづくり「いこま南口そぞろ歩き」

訪れた人が回遊しやすいまちを目指し、生駒駅南口エリア一帯に期間限定でサインを設置し、人の流れの変化やまちの回遊性への影響を検証します。一部のサインに掲載する QR コードをスマートフォン等で読み込むと、その場所の昔の写真を見ることができる仕掛けをし、まちへの愛着を高めるきっかけをつくります。

・日 時 2月15日～3月31日（金）



3 場づくり「パッチの部屋」

商工会議所別館（旧 南都銀行生駒支店）を活用し、地域に関わりのあるゲストスピーカーに話を聞く公開型の対話セッションを開催。対話を通し「人と人」「人とまち」が繋がる場を創出することで、新しい活動が生まれる起点をつくります。

・日 時 2月28日（火）18:30～

・ゲスト 小林牧子（合同会社山の印刷屋代表）

※以降、毎月定期開催を目指し企画中



■奈良先端科学技術大学院大学との協働

並行して、奈良先端科学技術大学院大学ユビキタスコンピューティングシステム研究室と連携。生駒駅南口の人流観測やプロジェクト支援の協力を得ます。

1 人流観測

・時期 令和4年12月～ 実施中

・内容 通行者のスマートフォンから発するブルートゥースの電波を捕捉し人流を観測。平常時やプロジェクト実施時の観測結果を比較し、効果検証に活用します。

2 市民がプロジェクトを応援し合える仕組みの開発

・時期 令和5年2月～ 実施中

・内容 生駒市内の地域でソーシャルグッドな活動(社会に対して良い影響を与える活動の総称)に挑戦するプロジェクトを市民が応援する仕組み「みんなサポいこま」。市民が支援対象のプロジェクトを選んで投票することで、企業からの支援金が分配される仕組みです。人とまちが変わるアプリ「ためしば」をインストールすれば、今回のプロジェクトを応援することができます。



この件に関するお問い合わせ

生駒市拠点形成課拠点形成係（課長 有山、課長補佐 浜田） ☎0743-74-1111(内線 3800、3801)